

# 危機下の子どもたち

以下の地図は、2015年末時点の世界規模での人道分野の状況、特に子どもたちやその家族に影響を与えている重大な危機を示したものである。

## サヘル地域

2016年、推定2,350万人が食糧不足の影響を受け、580万人以上の子どもたちが、中度および重度の急性栄養不良に陥ると予想されている。

## ナイジェリア

2014年以降、ボゴ・ハラムによる襲撃で情勢不安が高まり、北東部では200万人近くが国内避難民に。栄養不良が広がっており、病院や学校などの施設が破壊されている。

## 中央アフリカ共和国

紛争を背景として、120万人以上の人々が緊急を要する食糧不足に直面している。また、推定3万9,000人の5歳未満の子どもたちが重度の急性栄養不良に陥ると予想されている。

## ブルンジ

世界最貧国の一つであるブルンジは、人道保護の危機に直面しており、人々は自宅からの避難を強いられている。約22万人がコンゴ民主共和国、ルワンダ、タンザニア、ウガンダに逃れ保護を求めている。

## ヨーロッパの難民・移民危機

2015年には、100万人の難民・移民がヨーロッパに流入した。その多くは、シリアなど中東の紛争地域から、バルカン半島西部、ギリシャ、トルコを経由し、困難かつ危険の多い行程を経ている。逃れてきた人々のうち、子どもたちの割合が高まっている。

## ウクライナ

58万人の子どもを含む約370万人が現在も紛争の影響を受けている。戦線の近くで暮らす子どもたちは、爆撃、地雷、不発弾のリスクに日々晒されている。

## 南スーダン

2年間に及ぶ紛争により、南スーダンは失われた世代を生み出す危険に直面している。230万人近くが家を追われ、そのうち64万5,000人がエチオピア、ケニア、スーダン、ウガンダで難民となっている。

## イエメン

2015年3月の紛争の激化により、990万人の子どもを含む2,120万人以上（人口の82パーセント）が人道支援を必要としている。

## シリアと周辺国

シリア国民は世界最大の人道危機に直面している。国内で推定1,350万人が、命を守るための緊急支援を必要としている。また、650万人が避難を強いられ、既に400万人以上がシリアから逃れている。

## イラク

現在も続く暴力により、320万人近くが避難を強いられている。同時に、シリア難民も受け入れている。子どもたちは学校に通えなくなり、児童労働、武装勢力による徴用やコレラなどのリスクに直面している。

## アフガニスタン

いまでも続く武力衝突や洪水、雪崩、地震などの自然災害で、多数の人々が避難を強いられており、基礎的な保健サービスや教育の提供を阻んでいる。

## ミャンマー

政治的な移行を進めているものの、カチンや北部シャンにおける現在進行中で未解決の紛争と、ラカインでの地域間の暴力により、子どもたちが影響を受け続けている。

矢印は紛争により隣国へ逃れる人々の動きを表す

この地図は編集されたものであり、実際の形状とは異なる。国境の法的地位に関して、ユニセフとしての何らかの立場を表明するものではない。点線で示されているのは、インドとパキスタンの間で合意された管理ラインである。ジャンム・カシミール州の最終的な地位については両者の間でいまだ合意されていない。スーダンと南スーダンの間での最終的な国境はまだ決定されていない。